

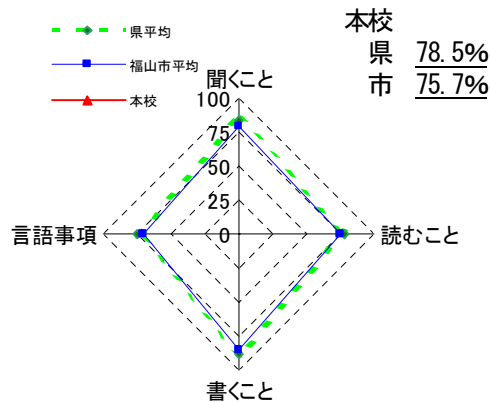
## 昨年度課題

- ① 【◎】 説明文において段落ごとの要旨を読み取ることに課題がある。(読む)
- ② 【◎】 漢字力、ローマ字力、言語の意味理解の個人差が大きい。(言語事項)
- ③ 【◇】 メモをもとに書いたり、順番を考えて書いたりすることに課題がある。(書く)

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ① 児童に「つきたい力」を明確にしたうえで、読み取り技法を指導して学び方を身につけさせ、段落相互の関係を読み取り、キーワードや要旨をとらえさせるよう指導する。
- ② 言語事項を扱った問題を提示し、言葉の時間や昼の帯タイムを活用して言葉のスキルが身につくように指導する。(内容・量)
- ③ 授業の中にメモやキーワードをもとに自分の考えを書く活動を取り入れる。  
《本年度の目標値 「基礎・基本」 定着状況調査の通過率において、50%未満の児童を0にする。》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



小規模校・少人数のため、データの公開は控えさせていただきます。

## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎漢字を書く力の個人差が大きい。(言語事項)
- ◎グラフから読み取り、自分の考えを文で表すことに課題がある。(書く)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)

- 【国語科】
- ① 毎時間、漢字のテストをしたり、家庭学習で漢字に取り組んだりさせる。
  - ② 学年毎に使う漢字の数のめあてを持たせ、日記に漢字を使うことにより漢字の定着を図る。
  - ③ ことばの時間や広瀬タイムを活用し言語スキルの問題に取り組み、引用したり絵やグラフから読み取り、自分の考えが伝わるように書く力を身につけさせる。
- 【全校・他教科等】

## 取組みの検証

- |     |           |      |     |
|-----|-----------|------|-----|
| ○時期 | 3月初め      | ○目標値 | 65% |
| ○方法 | 過去問で検証する。 |      |     |

## 来年度の目標値

- 「基礎・基本」の定着状況調査の通過率において50%未満の児童を0にする。

# 授業改善シート〔算数〕

校番(44) 福山市立 広瀬小学校

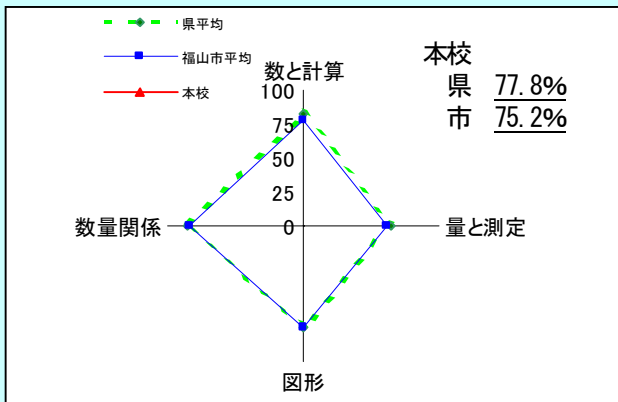
## 昨年度課題

- ①四則計算のきまりが十分身につけていない。繰り下がり繰り上がりの計算の仕方が十分身につけていない。(数と計算)
- ②基本的な図形の性質や図形に関する用語や作図の仕方が十分身に付いていない。(図形)
- ③表やグラフから必要な情報を読みとって答えを導き出すことに課題がある。(数量関係)

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①ドリルの時間や家庭学習を利用して、四則計算のきまりなど基本的な学習を繰り返し練習し、習熟できるようにする。
- ②具体物を使った算数的活動を重視し、自分の考えを図や式言葉を使って表現できるように指導する。
- ③表やグラフから分かったことをノートに書かせ、必要な情報を確かめ合った上で自力解決に入る。  
《本年度の目標値 「基礎・基本」 定着状況調査の通過率において、50%未満の児童を0にする。》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



小規模校・少人数のため、データの公開は控えさせていただきます。

## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎伴って変わる数量を表に表すことはできるが、表やグラフから必要な情報を読みとって式を導き出すことに課題がある。(数量関係)
- ◎分数の意味・その表わし方についての理解が不十分である。
- ◎量の大きさについての感覚が十分に身につけていない。
- ◎算数的活動を通して、筋道を通してじっくり考えることが難しい。

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)

### 【算数科】

- ①具体物を使った操作活動を通して、事象を式に表す指導と式に表された事象を読み指導を相互に関連させる。
- ②分数を面積図やテープ図に表し、感覚を豊かにし、分数が用いられる場面に応じて、繰り返し指導していく。
- ③実際の量や大きさを予想させ、単位と身近なものの量と結び付けて、実感を伴う活動を取り入れる。

### 【全校・他教科等】

授業の終わりに、自分の言葉でめあてにそった振り返りをノートに書くよう指導する。

## 取組みの検証

- 時期：3月      ○目標値：65%向上
- 方法    過去問で検証する。

## 来年度の目標値

- 「基礎・基本」定着状況調査の通過率において、50%未満の児童を0にする。

# 1 生活・学習

## 授業改善シート〔質問紙調査〕

校番( 44 )番 福山市立 広瀬 小学校

小規模校・少人数のため、データの公開は控えさせていただきます。

◎自己実現力・自己効力感が低い。	・スモールステップで、目標をおきながら、それに向けて努力している過程を認め、勇気づけることばがけをする。 ・お互いのよさを認め合える活動を、日常的に取り入れあたたかい集団づくりを行う。
------------------	---

来年度の目標値	・「自分にはよいところがあります。」という項目のアンケート結果において、本年度よりは数値を上げる。(個の変容)
---------	---

# 2 教科学習への意識

国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。

小規模校・少人数のため、データの公開は控えさせていただきます。

算数の授業はよく分かります。

小規模校・少人数のため、データの公開は控えさせていただきます。

	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	◎漢字などのくりかえし学習への意欲が低く、分からない言葉や漢字を辞書を使って調べることが少ない。	・個の能力に応じた量と内容で、くりかえし漢字学習を行わせる。 ・授業中に辞書を使う機会を意図的に仕組む。
算数	◎基礎的・基本的な知識・技能の習熟が十分でない児童が多く、算数の授業で学んだことが、他の教科や生活の中で計算したり表やグラフにしたりすることの役に立つと考える意識が低い。	・朝のステップタイムに、自分の習熟度に応じた問題を選択し、自学自習をしながら基礎的・基本的な知識・技能の習熟を図る。 ・学習と日常生活での活用場面を意識してつなげる。単元の導入時とまとめ時を大切に、学習への意欲・関心を高める。

来年度の目標値	・「算数の授業で学んだことが、他の教科や生活の中で、計算したり、表やグラフにしたりすることの役に立ちます。」という項目のアンケート結果において、本年度よりは数値を上げる。(個の変容)
---------	---

# 授業改善シート〔実施スケジュール〕

校番( 44 )番 福山市立 広瀬小学校

	～ 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	・ Plan			・ Do			・ Check			・ Action		
	結果の分析・H22の改善計画の見直し H23の改善計画の実施			検証			次年度の計画			→		
全校・全教科	<p>ひろせタイム 月読書 火俳句・群読 水漢字 木視写 金言語技術, 月1回ことばの時間</p> <p>図や表・グラフ, 文章から必要な情報を選択し, 根拠をもとに関連付けて読む・書く・説明する</p> <p>振り返りをノートに書き, 自己評価をする。学習リーダーの育成, 「見直しをもって」, 「いつもと同じ」, 「ここまでできたら」特別支援教育の視点での授業</p> <p>公開研究会 (算数)</p> <p>ステップタイムによる言語事項の習熟</p>											
国語	<p>2年「おもちゃの作り方」</p> <p>3年「ほうこく書を書こう」</p> <p>4年「写真と文章で説明しよう」</p> <p>1年「じどうしゃくらべ」</p> <p>5年「グラフや表を引用して書こう」</p> <p>漢字テストの実施, 家庭学習の定着, 図やグラフから分かったことを読み取り, 自分の考えを言葉で表現し, 書く力の向上</p> <p>6年「この絵, わたしはこう見る」</p>											
算数	<p>教材・教具・算数的活動の工夫</p> <p>校内研究授業 レディネステスト 評価問題</p> <p>1年「かたちづくり」</p> <p>6年「メートル法」</p> <p>4年「どのように変わるかな」</p> <p>2年「はこの形」</p> <p>3年「重さ」</p> <p>1年「たすのかなひくのかな」</p> <p>2年「長い長さ」</p> <p>3年「小数」</p> <p>4年「分数」</p> <p>個の実態に応じた自力解決への支援・ステップタイム</p> <p>6年「比例と反比例」</p> <p>5年「図形の面積」</p> <p>5年「割合とグラフ」</p> <p>5年「表やグラフを使って考えよう」</p>											
生活・学習	<p>生活・学習 アンケート分析</p> <p>課題の分析・方向性</p> <p>生徒指導の三機能を生かした授業づくり・集団づくり (自己決定の場を与える・自己存在感を与える・共感的人間関係を育てる)</p> <p>体力テスト (上体起こし)</p> <p>生活・学習 アンケート実施・分析</p> <p>(返事・チャイム席・整理整頓) の表彰</p>											